

熱中症による救急搬送状況（R7.5.1～8.31）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和7年5月1日（調査開始日）から8月31日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

○ 令和7年5月1日から8月31日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、798人（速報値）でした。

○ 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。

- ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順。
- ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症の順。

なお、死亡者は1名。

死 亡	初診時において死亡が確認されたもの
重 症	傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路の順。

住 居	敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等	道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等	田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関	幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕	不特定者が出入りする場所の屋内部分 （例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕	不特定者が出入りする場所の屋外部分 （例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他	上記に該当しない項目

○ 直近1週間（8月25日～8月31日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
36	0	0	1	8	27	0	1	10	25	0
発生場所										
住居	工事現場、工場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場		道路	その他			
				屋内	屋外					
17	3	2	0	3	4	6	1			

県内の熱中症による救急搬送状況(R5～R7)

1 年齢及び傷病程度(初診時) (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～8/31)	798	0	1	50	219	528	1	24	253	520	0
	(構成比)	0.0%	0.1%	6.3%	27.4%	66.2%	0.1%	3.0%	31.7%	65.2%	0.0%
[参考] 対R6同期比 (4/29～9/1)	+ 168	+ 0	+ 0	▲ 7	+ 43	+ 132	+ 0	+ 8	+ 68	+ 95	▲ 3
[参考] 対R5同期比 (5/1～9/3)	▲ 237	+ 0	▲ 6	▲ 36	▲ 92	▲ 103	▲ 3	▲ 19	▲ 10	▲ 180	▲ 25

【集計対象】調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数

2 発生場所別 (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～8/31)	798	352	80	20	13	42	103	117	71
[参考] 対R6同期比 (4/29～9/1)	+ 168	+ 66	+ 21	+ 4	▲ 5	▲ 8	+ 27	+ 33	+ 30
[参考] 対R5同期比 (5/1～9/3)	▲ 237	▲ 151	▲ 34	▲ 14	▲ 22	▲ 19	▲ 17	+ 4	+ 16

